

## 事業計画書

事業名	中山間地における高齢者等交通弱者の買い物支援事業
実施箇所	内山・平賀・太田部・常和・瀬戸・中込
実施期間	事業開始予定年月日 平成30年5月1日
	事業終了予定年月日 平成31年3月21日
	<p>&lt;事業の目的及び達成目標&gt;</p> <p>佐久平駅周辺的一大商業集積化が既存商店街の体力を一年一年奪い続け、市内各地において廃業に追い込まれる商店の続出は、商店街機能の喪失に結びついている。必然的に、徒歩や自転車などで通える地元商店街に頼ってきた高齢者を始めとした交通弱者は、買い物難民として日常生活に支障をきたすこととなっている。</p> <p>中込駅を中心に中込地区はもちろんのこと、平賀、内山地区住民のお買い物の場として栄えてきた中込商店街も、他地区の商店街同様に廃業危機や後継者難で商店街としての存立が危うくなってきている。</p> <p>そこで、近隣の商店が皆無状態の平賀、内山地区の高齢者や移動手段を持たない住民向けに、実質的な試験運行となった昨年に引き続きジャンボタクシーを今年度も運行することとし、衣食住に関わる商店が少なからず残っている中込商店街において、自ら動いての消費活動が叶わない買い物難民の皆様にも、お買い物やお食事を楽しんでもらえる機会を提供する。</p> <p>同時に、中込の街の中にこだわって昨年新築移転された、恵仁会くろさわ病院へ通院される高齢者にもジャンボタクシーの活用を促してみる。そうすることによって、必然的に広い意味での商店街活性化への貢献を果たしていただくことになる。</p> <p>なおジャンボタクシーの運行に当たっては、運行している公共交通の運行ダイヤと重ならないよう、運行時間の設定には細心の注意を払う。もちろんジャンボとはいえ小回りのきくタクシーの特性は最大限活かし、玄関に横付けしての送り迎えを行うこととする。</p> <p>さらには昨年の反省を活かし、貸切時間内での可能な限りの車移動を心掛け、足腰の不自由な高齢者に最大限の配慮をすることとする。</p>

事業概要

<事業の内容>

1. 送迎ジャンボタクシー(定員9名)の運行

6月から3月までのほぼ1年間、毎月第1と第3の木曜日を基本に合計で20回運行する。午前中には自宅まで迎えに行き、それぞれのお買い物並びに昼食が終了する午後に自宅までお送りする。

なお乗車を募集する地域が平賀・内山の広範囲にわたるため、タクシー会社との契約の3時間の中では1往復の運行しか望めないこともあり、お客様の街中でのお店からお店への移動の際には、可能な限りタクシーに乗車していただき、費用対効果の充実を図る。

さらに昨年に引き続いて2度目の運行となる本年は、月の後半の運行日となる第3木曜日に中込商店会の「毎月マルシェ」が開催予定なので、街に出掛ける楽しみもプラスさせてタクシー利用を勧奨する。

2. チラシの制作、新聞折り込み

6月から3月まで、毎月第1水曜日に平賀・内山地区限定で新聞にチラシを折り込み、申し込み方法を含めた事業の内容説明を広く知らしめる。

その際には各商店の協賛セールを魅力満載で企画実施したり、その月ごとの目玉商品やサービスを広く地元宣伝したりし、タクシー利用希望者にとどまらない地元消費者の呼び込みに必要不可欠な手立てとして、毎月のチラシを大いに活用する。

さらには、商店そのものの紹介も高校生(まちゼミのケータイ・スマホ教室で長年ご協力いただいている野沢南高のふれあい同好会)の手によって試みることによって商店街全体のイメージアップ並びに商店街への恒常的な誘客を図り、さらなるチラシ効果の引き上げに結び付けることとする。

ちなみにチラシは5000枚用意し、そのうちの4600枚は新聞折り込みとする。そして残りの400枚は、商店街各店に配布し店頭でお客様に手渡すのみならず、くろさわ病院並びにサングリモ中込にも置いていただくことによって、新聞未購読者を筆頭としたターゲット層にも本事業の存在をアピールすることとする。

さらには、平賀・内山地区の各区長さんのご理解・ご協力の下、回覧板でのタクシー運行に関する簡潔な案内を毎月実施し、該当地域への告知の周知徹底を図る。

なお既存の広報手段である中込商店街だよりでも、火曜印刷の木曜店頭配布(新聞折込は土曜)という「速報性」を十二分に発揮させて、最新情報をお届けすることとする。

3. ポスターの制作、掲示

3ヶ月間のみの実験的運行から10ヶ月間の本格運行となる本年は、恒常的な認知度アップを図るべく、ポスターを制作して商店街各店の店頭並びに商店街内の病院や公共機関に掲示する。

併せて、昨年の事業期間終盤に回覧板での対象地域全戸への案内配布を勧めてくれた、平賀・内山地区の区長会にあらためてご理解ご協力いただき、各公会場(全30ヶ所)にもポスターを掲示する。

ちなみにポスターのデザインは、昨年商店街の中に掲示するイラスト看板を共同で制作してもらった、野沢南高と野沢北高の美術班に今回も依頼し、話題性のある仕掛けによるメディアへの露出を図る。そうすることによって、本事業への関心、注目を高め、利用度のアップに繋げる。

<アピールポイント>

従来は、お客様に来てもらってからのことだけを考えてきたが、現実的に本数の少ないバスに頼ったり、家族や知り合いの車に乗せてきてもらったりしている高齢者を始めとした交通弱者の存在に思いを巡らすと、どのようにお越しいただくかということから考え始めるのが、時代の要請になっているはずである。さらには衰退しつつある商店街を昔からなじみのある地元住民の皆様にお買い物やお食事だけでご利用いただくというのではなく、当日開催されているイベントで楽しんでいただいたり、世代間交流の輪に入ってもらいたいという仕組みづくりは、モデル的で今後の発展性に繋がると確信している。

年間計画	4月	
	5月	チラシ制作、ポスター制作開始。 中込地区区長会に依頼し、対象地区にポスター掲示。回覧依頼
	6月	6/6(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 6/7(木) ジャンボタクシー運行 6/21(木) ジャンボタクシー運行
	7月	7/4(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 7/5(木) ジャンボタクシー運行 7/19(木) ジャンボタクシー運行
	8月	8/1(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 8/2(木) ジャンボタクシー運行 8/16(木) ジャンボタクシー運行
	9月	9/5(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 9/6(木) ジャンボタクシー運行 9/20(木) ジャンボタクシー運行
	10月	10/3(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 10/4(木) ジャンボタクシー運行 10/18(木) ジャンボタクシー運行
	11月	10/31(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 11/1(木) ジャンボタクシー運行 11/15(木) ジャンボタクシー運行
	12月	12/5(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 12/6(木) ジャンボタクシー運行 12/20(木) ジャンボタクシー運行
	1月	1/9(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 1/10(木) ジャンボタクシー運行 1/24(木) ジャンボタクシー運行
	2月	2/6(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 2/7(木) ジャンボタクシー運行 2/21(木) ジャンボタクシー運行
	3月	3/6(水) チラシ発行、4,600枚折込、400枚店頭配布 3/7(木) ジャンボタクシー運行 3/21(木) ジャンボタクシー運行

<p>活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果（事業の対象者・参加予定人数も記載）</p>	<p>&lt;「公益性」の視点&gt;          昨年からスタートしたデマンドタクシー（予約制乗合タクシー）の平賀エリア線は、月曜日から金曜日まで毎日最低でも3便運行されており、非常に使い勝手の良い公共交通となっているが、従来からあるバスの代替交通ということもあり、停留所での乗り降りが求められている。それに対し、当事業のジャンボタクシーは1便のみの月2回運行ではあるが、ご自宅までお迎えに上がりご自宅まで送り届ける方法を取っており、停留所までさえ足を運ぶのが困難な交通弱者にも利用を呼び掛けることが可能となっている。すなわち民間が取り組む公共交通を補完する仕組みということになり、公益性の高い事業となっている。ちなみに対象者は、事業名にある通りの「中山間地における高齢者等交通弱者」で、参加予定人数は最大で9名×20回の180名となる。</p>
<p>活動を継続するための取組や考え方（資金面、人材等）</p>	<p>&lt;「自立性」の視点&gt;          需要と供給のバランスを調査すべく、昨年から試験的にスタートさせた本事業であるが、各方面からの評判がよかったのにも関わらず、利用者が伸び悩んだ。そこで2年目となる本年は、昨年の反省を活かした「てこ入れ策」を多岐にわたって実施する。そして今後に関しては、長野県発元気づくり支援金の手厚い支援をフル活用の上、資金面の課題に対処し、地元高校生や地元区長たちの協力を得て少なくとも3年間は活動を継続していく予定である。さらに4年目以降の自立については、真に必要とされているかどうか、じっくりと検証、見極めをしてから判断することとする。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>2年目となる本年の事業結果を踏まえて、根幹部分はそのままに3年目の取り組み方法を必要とあらば組み立てなおしていく</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>高齢者を始めとした交通弱者に手を差し伸べることによって、地元商店街の存在意義を再認識していただくのはもちろんのこと、商店街そのものへの地域住民からのイメージアップも図り、さらには商店街の活性化に結び付けることを最終的な目標とする。</p>